

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■松本 雅祐 議員…08

- ・合同墓に故人名を刻むこと
- ・生きがい文化センターにエアコンを

■大前 昭代 議員…09

- ・福祉避難所の受入れ体制は
- ・スクールバスを地域の足として活用

■鶴岡 恵司 議員…10

- ・農業者の人材確保への取組
- ・令和7年度の市内の有効求人倍率は

■伊藤美恵子 議員…10

- ・公立高校の魅力づくり事業
- ・太陽光発電設備の規制条例について

■松原やす子 議員…11

- ・給付金の支給方法について
- ・福祉除雪助成事業について

■村上 誠 議員…12

- ・麦・大豆施設増設への支援
- ・外国資本による土地購入について

■新田 旺 議員…12

- ・拓大閉校後の在り方は
- ・広報紙配布のデジタル化を進めては

■田畑 陽美 議員…13

- ・地域全体で支える子育てを
- ・健康寿命延伸と健康づくりの推進

■山本 時雄 議員…14

- ・ふるさと納税の寄附状況は
- ・有害鳥獣の処理頭数について

■宮澤 孝司 議員…14

- ・パークゴルフ場の管理は
- ・旧職業訓練センターの管理について

■佐々木一夫 議員…15

- ・生活応援給付金の支給方法
- ・拓殖大学北海道短大の撤退について



まつもとまさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

合同墓に故人名を刻むこと
墓誌を含む設備導入を検討

深川市合同墓
「やすらぎの丘」
について：市HP



合同墓「やすらぎの丘」

◎ 合同墓は少子高齢化に伴い利用が増え、承継不安を抱える市民の重要な受皿となっている。一方、故人の名を残したいとの要望もあり、合同墓に希望者の名前を刻む仕組みを導入できないか伺う。

◎ 維持管理費の負担などの課題がありますが、合同墓を利用される方々の事情は多様であり、遺族の心情に丁寧に寄り添うことも重要と考えます。合同墓は、令和10年度に埋蔵予定数の上限に達することが見込まれ、新たな合同墓の整備を検討するに当たって、現行の趣

旨を尊重しつつ、遺族の思いに応えられるよう、墓誌を含む設備導入や柔軟な運用方法を検討していきます。

◎ 近年、猛暑日が増え、熱中症対策は喫緊の課題となっている。市民から

は生きがい文化センターにエアコンを整備し、クーリングシェルターとして活用できないかとの要望もあるが、市の考えを伺う。

◎ 深川市では、市役所ロビーとプラザ深川の2か所をクーリングシェルターに指定しており、暑さを避ける場所として一



おおまえあきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

福祉避難所の受入れ体制は
指定9施設と連携し研究

◎ 高齢者や障がい者、妊産婦、医療的ケア児など、特別な配慮を必要とする方は、市が指定している福祉避難所へ避難する。福祉避難所の受入れ可能人数や備蓄品の状況及び今後の計画について伺う。

◎ 約50人の受入れが可能となっており、設置及び運営に関するマニュアルを定めています。福祉避難所が必要となる物資等は、市が備蓄している食料、飲料水のほか、毛布や暖房設備、マスクやアイソレーションガウンなどの感染症対策用品を必要に応じて施設に提供するこ

◎ 国土交通省では、スクールバスを地域住民の移動に活用できるような方法を検討している。こ

れを踏まえ、本市の交通空白地帯における移動手段として、スクールバスを活用する考えを伺う。

◎ 交通空白地帯における移動手段として、スクールバスをはじめとした既存の輸送資源を活用することは、有効な選択肢の一つと捉えています。しかし、本市は交通空白

避難所運営マニュアル等について：市HP



スクールバス



鶴岡恵司 議員
【公政クラブ】

農業者の人材確保への取組 定着に向けた取組を推進

◎ 農業に関心を持つ幅広い層に深川へ来てもらう取組が求められている。将来の農業や地域を守るために、市が中心となって関係機関と連携しながら人材確保に取り組みべきと考えるが、市の考えを伺う。

◎ 深川市新規就農者等受入協議会など関係団体と連携し、様々な角度から新規就農者の確保及び育成に取り組んでいますが、将来に備えた人材確保の取組の重要性はますます高まっていくと考えます。今後も関係団体等と連携し、就農希望者の円滑な就農・定着に向

けた取組を推進していくとともに、有効な人材確保の方策などについても研究していきます。

◎ 令和7年度の市内の有効求人倍率は、市内の多くの事業所では、業種を問わず、人手不足の課題を持つていると聞く。仕事はあるのに受けることができないとの声もあるが、令和7年度の市内における有効求人倍率の推移について伺う。

◎ ハローワーク深川における令和7年12月時点の月間有効求人倍率は、深川地区1・38倍、滝川地区0・92倍、全道0・93倍、全国1・17倍とな

深川市で農業をはじめてみませんか：市HP



っています。令和7年度の深川地区有効求人倍率の推移は、最も低い月で1・38倍、最も高い月で1・73倍となっており、1・00倍を上回る高い水準で推移し、求職者にとっては職業選択の幅が広がる一方、企業にとっては労働力確保が難しい状況と推察されます。



伊藤美恵子 議員
【民主クラブ】

公立高校の魅力づくり事業 協働体制の在り方を検討

◎ 市内公立高校の存続に向けた魅力づくり事業は、教育委員会だけではなく、市長部局も含めた政策課題として、学校、行政、地域、企業、保護者が一体となって取り組むべきと考えるが対応を伺う。

◎ 市内公立高校の存続に関する意見交換会兼魅力づくりに向けた検討会を開催し、多様な関係者から意見を伺ってききました。さらに市長部局でも、まち未来推進課が市内高校との懇談を継続し、学校と地域をつなぐ人材確保の必要性などの意見も伺っています。今後は、公立高校の魅力づくりに

求められる取組や、それぞれの役割分担なども含めた協働体制の在り方について検討していきます。

◎ 太陽光発電設備の規制条例について

◎ 大規模な太陽光発電施設の設置が計画された場合、自然環境や生活環境の保全等、地域の声

深川西高校・深川東高校の魅力づくりへの支援：市HP



深川西高校・深川東高校

最大限配慮されるよう、太陽光発電設備の規制に関する条例の制定が必要と考えるが、市の見解を伺う。

◎ 条例を制定することで一定の予防的効果は期待できますが、条例には事業そのものを停止させる強制力がないことに加え、事業者への対応には専門知識や監視体制の整備が必要となるなど、自治体としても対応に苦慮する様々な課題もあります。また、本市ではこれまで太陽光発電事業に関する苦情や相談は寄せられておらず、こうした状況を総合的に踏まえ、現段階では条例を制定する考えには至っていません。



まつばら 松原やす子 議員
【日本共産党】

給付金の支給方法について 効率的な事業運営を検討

◎ 生活応援給付金の電子クーポンでの交付について、高齢者からはスマートフォンがない場合の対応や市役所までの交通費負担など、困惑や不満の声が寄せられているが、支給方法の考えを伺う。

◎ 生活応援給付金の電子クーポンでの交付について、高齢者からはスマートフォンがない場合の対応や市役所までの交通費負担など、困惑や不満の声が寄せられているが、支給方法の考えを伺う。

◎ 高齢になるにつれ、自宅の門口や敷地の除雪が困難となる。令和7年度から福祉除雪サービスが福祉除雪助成事業へ変

◎ 令和6年度までは、深川振興公社が福祉除雪を実施してきましたが、将来の持続性を考慮し、7年度から事業主体を市に移し、対象要件はそのままに利用者負担を見直

深川市福祉除雪助成事業実施要綱



して、福祉除雪助成事業を実施しています。新たに一定の自己負担が発生することへの懸念はありましたが、制度の趣旨を丁寧に説明したことで大きな混乱なく事業を進められています。次年度も丁寧な対応と制度の周知を進めていきます。



村上 誠 議員
「公政クラブ」

麦・大豆施設増設への支援 国費事業を活用し支援検討

◎ J Aきたそらちが令和10年産からの供用開始を目指す、広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設の増設は、資材費や人件費の高騰により事業費が相当な額になると予想される。市としての支援の考えを伺う。

業を支える重要な基幹作物であり、今回の施設増設は地域農業の維持発展に必要不可欠です。一方、資材等高騰に伴い建設費が増大し、施設整備に伴う農家負担が経営を圧迫する恐れもあります。このため、国費事業の採択が前提となりますが、国費によるかさ上げ支援に

加え、国費で賄いきれない部分への市としての支援についても検討していきます。

開発計画が進められており、本市は地理的にも投資先として有望であると思われるが、現在の状況を伺う。

られています。大規模な土地の売買については、本市には年間15件程度の届出がありますが、外国籍と見受けられる取引は確認されていません。また、届出された土地の地目はほとんどが山林であり、その利用目的についても、現況のまま使用とされています。

広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設パ
ンフレット



広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設



新田 旺 議員
「民主クラブ」

拓大閉校後の在り方は 学校法人と連携を図り対応

◎ 令和9年3月の拓殖大学北海道短期大学の閉校は、地域経済や雇用、人口動態に直結する重要課題であり、迅速かつ戦略的な対応が求められる。閉校後の在り方に関する協議・検討の進捗状況を伺う。

等教育の機会を提供し、地域振興にも大きく貢献いただいできたことから、閉校の影響を強く懸念しています。現在、同短期大学を所有する学校法人において、教育機関を中心に継承の可能性について検討されており、市も学校法人と連携しながら対応を進めています。現

時点で詳細を示せる段階ではありませんが、地域にとつてよりよい方向につながるよう、引き続き取り組んでいきます。

増大、町内会役員の負担も大きい。今後、デジタル配信を進め、市民が媒体を選択できる仕組みを導入する考えについて伺う。

の要望取りまとめなど、多くの追加作業を町内会にお願いする必要があります。デジタル媒体には、環境負荷の軽減や印刷経費等の削減といった利点がある一方で、町内会の負担が増える大きな課題もあり、現段階では媒体の選択制を導入することは困難と考えます。

広報ふかがわ：市HP



市公式LINEでは広報紙の電子書籍版を配信中



田畑陽美 議員
「民主クラブ」

地域全体で支える子育てを 効果的な先進事例を研究

◎ 今後は行政が担う子育て支援に加え、地域全体で子育てを支えるという視点を一層強めて取り組むことが必要と考える。地域全体で子供を育てる環境づくりに向けた、市の今後の方向性について伺う。

だけでなく、市民、企業、地域が協働して取り組むべき課題です。そのためには、昨年制定した深川市子ども子育て条例の理念を広く浸透させていくことが重要と考えます。今後もこれまでの取組を継続しつつ、支援の輪をさらに広げるとともに、先進事例を参考に効果的

な手法の研究を進め、地域ぐるみで子育て環境の充実が図られるよう取り組めます。

関わり、互いに支え合いながら健康を維持しているまちづくりについて、市としての今後の展望を伺う。

います。そのため、個人の行動と健康状態改善のきっかけにもなる健康診断の受診勧奨を継続するとともに、具体的な健康づくりの普及啓発や、住民主体の活動への伴走支援も継続し、地域全体で健康づくりを意識し支え合える体制整備に取り組み進んでいきます。

深川市健康づくり計画：市HP



健康づくり事業のイメージ



やまもとときお 議員
「令和公明クラブ」

ふるさと納税の寄附状況は 寄附額は安定的に推移

◎ 昨年は全国的な米不足が騒がれる中、米価が市場開始以来の高値となり、本市のふるさと納税返礼品でも米が最も選ばれた。米価の高騰は続いているが、令和7年度のふるさと納税の寄附状況を伺う。

◎ 令和8年2月末時点の寄附額は約6億4千万

円、前年同期と比較し約40%となり、昨年より低い水準で推移しています。その要因として、昨年度は全国的な米不足という特殊な社会情勢の中で、本市の主力返礼品である米に対して高い注目と需要が集まったことが大きく影響したものと分析しています。一方で、

前々年度の同時期との比較では、約101%と微増しており、寄附額は本来の安定した寄附推移に戻りつつあると捉えています。

◎ 有害鳥獣の処理頭数について

◎ 有害鳥獣処理施設における有害鳥獣の処理頭数は年々増加していると思うが、令和5年度から現在までのエゾシカ、アライグマの処理頭数について伺う。

◎ 有害鳥獣処理施設におけるエゾシカ、アライグマの処理頭数について、エゾシカは令和5年度が515頭、6年度が481頭、7年度は1月末現

数に増加していると思うが、令和5年度から現在までのエゾシカ、アライグマの処理頭数について伺う。



有害鳥獣処理施設



みやざわたかし 議員
「令和公明クラブ」

パークゴルフ場の管理は 快適な環境維持に努める

◎ 芝枯れの状況を踏まえたりバーサイドパークゴルフ場のオープン時期と、総合運動公園パークゴルフ場のコース増設を含む利用者の要望を踏まえたコース整備など、今後の管理運営について伺う。

◎ リバーサイドパークゴルフ場は、芝の回復状況を慎重に確認する必要があります。養生に時間を要する場合はオープンが遅れる可能性があります。最終的なオープン時期は、雪解け後の芝の状態などを見て判断します。また、総合運動公園パークゴルフコースは、利用者から整備の要望が寄せられていますが、コースの配置

や管理方法、運営体制などの研究が必要です。今後も適正な管理を行い、快適にプレーできる環境維持に努めます。

◎ 旧職業訓練センターの管理について

◎ ふかがわ氷雪まつりが令和7年の開催をもって終了し、施設の活用見

込みがなくなりました。草刈りや屋根雪の処理など、地域に配慮した管理が必要と考えるが、今後の利活用と維持管理について伺う。

◎ 旧職業訓練センターは、建築から年数が経過して老朽化が進んでいることから、必要な範囲で最低限の管理を行い、安

深川リバーサイドパークゴルフ場：市HP



深川リバーサイドパークゴルフ場



ささきかずお 議員
「れいわ新選組」

生活応援給付金の支給方法 丁寧に説明し柔軟に対応

◎ 臨時会では、私だけが給付額が他町より少ない理由や特に高齢者は電子クーポン対応が困難との質疑をした。指摘どおり混乱と不満が生じているが、今からでも高齢者は現金給付に切り替える考えは。

◎ 本事業は、現時点で約8割の方が受給を完了

◎ 既に指摘してきたが、多額の補助金を投じてきた短大の撤退に対し、短大に全てを任せるとして

◎ 拓殖大学北海道短期大学の閉学後の対応については、同短期大学を所有する学校法人において、教育機関を中心に継承の可能性を検討しており、市としても学校法人と連

拓殖大学北海道短期大学HP



学生募集停止を発表した拓殖大学北海道短期大学

携を図りながら対応していますが、現時点でそれ以上のことをお示しできる段階にはありません。そのため、議員の提言については、今後の状況を見極めながら検討していきます。